



渡島地方本部ニュース

【発行】
 自治労渡島地方本部
 執行委員長 川村 哲也
 〒041-0806
 函館市美原4-6-16
 TEL 0138-34-2357
 FAX 0138-34-2358

さようなら原発1000万人署名を成功させよう!

鹿部町文化祭で『署名』活動を実施 『脱原発』未来へつなごう



11月3日、鹿部町文化祭「響け未来へつなぐふるさと」の文化の祭典」が鹿部中央公民館で行われ、一角に「大間原発建設中止署名」と「さようなら原発1000万人署名」コーナーを設け署名を呼びかけました。文化祭では、幼稚園児の演劇から小学生のリコーダー演奏、中学生の吹奏楽の演奏を署名活動をしながら、堪能し、有意義な時間を過ごすことができました。未来のある子どもたちのためにも「脱原発」を訴え続けなければなりません。



↑説明する田島副委員長

第16回渡島地本定期大会 全単組でたたくことを確認

町民の皆さん、署名のご協力ありがとうございました。

11月4日、函館国際ホテルで第16回自治労渡島地方本部定期大会を開きました。主催者を代表し川村委員長

↑署名コーナー

のあいさつのあと、各級議員・道本部藤盛副委員長からあいさつをいただきました。経過報告及び2012運動方針(案)や予算(案)

当面の闘争方針(案)、規約の一部改正、役員選考について代議員の了承を得ることができました。

質疑では、函館市の賃金合理化提案について、この間の経緯を函館市職労の川村代議員が報告し、地本は、闘争体制を構築し、たたかっ

ていくことを確認しました。また、全道庁労連渡島総支部の扇谷代議員が13年間に及ぶ独自削減と、このたび、3年間で現給保障を廃止する

勧告がだされたことについて報告があり、地本としては、自治労道本部方針でもある、現給保障制度が措置された経緯を踏まえ、廃



↑函館市職労・川村代議員

止の撤回にむけ、山場を頂点として管内単組全体でたたかっていることを確認しました。また、11月10日に開く地公三者共闘総決起集会で、再度全体で賃金確定闘争の妥結基準やたたかひの進め方を意思統一していくことも確認しました。

来年は「はこだて大会」 現地実行委員会を発足

定期大会終了後、来年8月30、31日に函館市で開かれる、自治労本部第84回定期大会現地実行委員会発足式を行いました。

冒頭、川村委員長のあいさつ後、自治労道本部・藤盛副委員長が、「大会にむけて、道本部・現地実行委員会を立ち上げ、成功裏に終えるよう各単組の皆さんのご協力をお願いします」とあいさつしました。

今回は設立にとどめ、具体的な任務分担などは、12月に予定する次回以降の実行委員会協議します。